

はじめに

皆さんから質問いただきましてありがとうございます。

最初に申し上げますが、お子さんに関する細かい個別質問には答えられないことをご了承ください。データがないからです。

データというのは、日本語の場合、ひらがな、カタカナ、漢字の読み書き、読みのスピードで、英語の習得に関する質問の場合には、英語の習得状況や、日本語の読み書きに関する習得度などです。データはどうしても必要で個々で違います。データがあればお話ができます。それをご承知の上でよろしくお願い致します。

質問 1：幼稚園年長の読み書き習得について

質問内容：

幼稚園の年長児童です。周りのほとんどの子は、平仮名を読み書ができています。お手紙をくれたり、公文教室に通って、国語も算数も小学校レベルのことをしていると思います。

しかし、うちの子は本に全く興味を示さず、絵本を読んでもどこかへ行ってしまう。園でも、「しりとり」、「カルタ取り」も嫌いだと言って、やりたがらないそうです。

親はもう焦るばかりで、いろいろと幼児用の教材を買い与えて、働きかけをしていますが、抵抗が激しくできません。自分の名前も、「あ」とか「ゆ」のような形が取りにくい文字が入っており、自分の名前も書けません。

この状態で学校へ進んで、やっていけるのでしょうか。専門家の方に聞くと、お母さんが焦りすぎると、子どものやる気がなくなると言われました。このままにしていのでしょうか？

回答

年長時の 11 月の段階で、平仮名 71 文字（拗音を除く、清音・濁音・半濁音）のうち、70 文字全部読める子と、71 文字のうち 1 個だけ読めなかったり間違った子と合わせると、だいたい 70%になります。つまり、読みに関しては、拗音以外のひらがな 71 文字をほぼ習得しているというふうに考えられます。

これは 20 数年前の国立国語研究所のデータと近似していました。残りの 30%の子のうち、小学校 1 年生の夏休みに普通に練習すると、ざっくり申し上げますと 9 割の子は追いつきます。100 人中 3 人くらいが残るんですね。極端な場合、11 月の時点で、自分の名前に入っている 1 文字だけ提示されても読めない子が、小 1 の夏休みに練習すると、追いつく場合もあります。

小 1 の夏休みの練習方法は、1 日 5 分以内、5 個以内です。

ですから、この 30%の子どもたちは非常に個人差があると考えられます。文字を習得するために必要な能力が十分に成熟していないので習得できていなかったのですが、小 1 の夏休み頃に習熟するため多くはひらがなが習得できるようになります。

以上のデータから、小 1 の夏休みがひらがなを習得するための準備段階（レディネス）ができ上がっている段階と考えることができます。

ですから、年長さんで教えてもなかなかひらがなができるようにならないお子さんがいると、もうそれ

以上無理させないでください。

こういうデータもあります。この幼稚園プラス家庭で、ひらがなを教わっている時間が長いほど、平仮名が読めないというデータが出ています。国立国語研究所の昔のデータでも同じような結果でした。海外の報告でも同様の論文がありますので、多分間違いないです。

年長さんの時はまだひらがなを習得するために必要な能力が十分成熟していない子がいます。ひらがなを習得するための能力が成熟していない場合に、教えてもできないわけです。教えてできないからまた教える。またできないからまた教える。そうやって、練習をした時間が長いほど読めないという結果になると考えられます。

そういう場合、がりがり教えると、失敗させる経験をたくさん積むということにつながりますので、それはぜひ避けていただきたいと思います。ちょっと教えてできるようだったら大丈夫ですけど。

大人の、まあ良かれと思ってでしょうけれども、子どもにとってその時期に、親の期待に添えない、やってもできない経験が多すぎることは、よいことじゃないと思います。ですから、お子さんにあまり負担をかけないようにしていただきたいと思います。

質問2：小学校1年生の読み書き困難について

質問内容：

小学校1年生です。ひらがなの読み書きが完全にできません。特殊音節の読み書きができません。テストはわからないときは先生が読んでくださるようです。板書もできません。ノートに先生が書いてくださるので、それを上から写しています。本人は特に困っている様子はないです。

宿題に時間がかかるといったら減らしてもらいました。このままでいいのでしょうか。

回答

これはかなり詳しく検査をしてみないとわからない話です。

特殊音節、あまり正しい専門用語じゃないですね。特殊拍表記文字。小さい、「やゆよ」がある拗音、小さい「っ」が入る促音、それとも音を伸ばす時に「お」と言っても「う」って書いたり、「え」と言っても、「い」と書いたりする長音。それから撥音「ん」

日本語の音韻単位は、モーラですが、モーラ、音節、文字数の3つの関係が一致していないのが今申し上げた拗音、促音、長音、撥音の4種類です。私は特殊表記文字と呼んでいます。

私たちの研究では、そのうちの促音と拗音、小さい「っ」の促音や、小さい「や」「ゆ」「よ」がはいった拗音の習得では、一般の小学生でも、小学1年生の夏休み時に、それぞれ27.7%、13.3%、習得していないお子さんがまだいるということが分かっております。ですから、先ほど申し上げましたように、小1の夏休みに練習しても、秋にまだ習得できてないんだったらちょっと心配してもいいと思います。

この9月ですよ。で、夏休みに練習してない9月だったらまた別です。練習した9月だったらちょっと心配してもいいのです。

小1では、時期により習得度が変化します。習得が遅いタイプの子どものか、心配しなきゃいけない子どもなのか、ちょっとそこが見極めが難しいですね。小1の学年末の最後まで、ひらがなの読み書きの習得が困難な状態が続いているのでしたら、それはちょっと問題と考えていただいてもいいです。

その場合には、合理的な配慮をしてもらって、早く教科学習の力を保った方がいいと思います。

質問3：中1での英語学習について

質問内容：

中1の女子ですが、英単語の読み書きを覚える方法を教えてください。

回答

本当に英語だけ問題なんですかとお聞きしたいです。英語の前にひらがなとカタカナ、漢字は、大丈夫ですか？と。もし、日本語の読み書きに問題あれば、英語どころじゃないんじゃないかと思うのです。英語にエネルギー注いでいいですか？というのがまず一つ目の問題ですね。

平仮名、カタカナも完璧じゃないのに、漢字にエネルギーを集中したり、英語に集中したりというのは、そのお子さんの学力を考えるお気持ちわかりますが、もし平仮名・カタカナが完璧でないなら、英語どころじゃないはずです。

次になぜひらがな・カタカナが大事かと言うと、大人になってメモを取るときに、急ぐ時はひらがな、カタカナで書くと思うのです。スマホやICT機器を立ち上げる時間的余裕がないからです。これは発達性ディスレクシアのある大人の方たちもひらがな、カタカナは、大人になってすごく使うから、できるようになっていたほうが良いと言っています。

次は漢字の音読力ですね。漢字に変換する際、同音異義語がある場合、意味がわかって読めると、どの漢字に変換していいのかが分かります。私は、極論かもしれませんが、漢字は多少書けなくても、いいんじゃない？って言ってるんです。極論ですよ。書けた方がいいに決まってるんですけど、無理して、漢字を、書く練習に集中するエネルギーがあるんだったら、漢字を読むのがもっとよくできた方がいいんじゃないでしょうかねって考えます。

その次ですよ、それで余力があれば英語だと思います。まず、アルファベットがランダムに、大文字小文字でちゃんと読み書きできるのが大事だと思います。最初の段階では、音声でA～Zまで系列的に口で言えるようにします。多くはL・M・Nでひっかかります。音でしっかり言えるようになったあと、今度は系列的に大文字・小文字で書けるようにします。次にランダムに読み書きできるように練習します。私のところに初めて来たお子さんが中学生の場合、例外なく、アルファベットを習得していない子ばかりでした。

アルファベットを習得していないのに、英語の読み方ができるのかどうかと思いますね、まずはアルファベット。ただその前に、漢字音読、その前にひらがな・カタカナです。お子さんに関する細かいデータが必要な質問でした。

質問4：漢字の書き順について

質問内容：

中学生です。簡単な漢字は読み書きできますがテストや日記は平仮名になってしまいます。先生から名前は漢字で、と声掛けありますが、平仮名のままです。2年間週2、3個ずつ楽しい雰囲気「唱えて覚える漢字練習」を続けてきましたが、書き順はバラバラで最近はお図形のように一筆で書く傾向があります。本人に確認しながら進めていますが、抵抗感があるようです。学校の先生からのご質問ですが、漢字

を書くように促すことは本人に負担でしょうか？

回答

負担かどうか本人に聞いてみた方がいいと思います。「漢字でなるべく書くようにするのはちょっと無理？」とか、聞いてみたらどうですかね。

発達性ディスレクシアがある子、他の子もそうだと思うけど、話し合ってゴールを決めてステップを進めることは、非常に大事なプロセスだって思います。

合理的な配慮に関してもそうです。ご本人がどういう風に感じているか、それは僕ら専門家が見てこういう合理的な配慮が必要でしょうって思っているけど、本人から嫌とか、必要ないって言われちゃう場合もあります。

大人と子供のせめぎあいだってそれは当然あるわけですし、でも話し合える人たちなので、話し合って進めていくのが大事なんだと思います。

先ほども申し上げましたように、漢字で書くということはそれほど大事なのではなくて、漢字が音読できて、漢字変換の時に困らないことが大事だと考えています。

書き順について

書き順は全く気にしないです、私は。ただし重要なのは、いつも同じ書き順で書いてほしいと思います。

国語の教科書にある書き順は、右手利きの人用の左から右への書き順ですよ。左利きの方には、不都合なんじゃないかと思います。

一般社会における右利きと左利きの、その出現率と比べると、発達性ディスレクシアの方の中では左利きの頻度は少し高いです。右利きの方が多いけど、左利きの頻度は通常よりも多いのです。

その子たちが例えば、「キ」という字を書く時に、下からこうやって、左手でこうやって書く。で、キに見えるんです。それで構わないから、いつも同じような筆順で書いてって伝えます。

なぜ、いつも同じ筆順が大事かと言いますと、運動の記憶が読みを促す、促通させるのです。今日は、やりませんが、背中にひらがなで、何か書いて、なんと書いたのか当ててもらってください。何か書いたら、すぐ読めますから。筆順を変えて書いてください。そうすると、なかなか読めない、時間がかかる。というふうに、運動の記憶は、読みを促進させるので、いつも同じ筆順の方が大事なことだと思います。ただし、教科書に書いてある筆順である必要はない、ということなんです。

それから文字の形は大人が読める程度であればいいです、というふうにしてください。

質問5：WISC 検査を受ける時期について

質問内容：

次は検査とかトレーニングについてお尋ねします。WISC 知能検査ですが、受けた方がいい時期、頻度などがありますか？前回は2年前、小学1年生の時に受けています。中学校に入る前に再度受けた方がいいということがあるのでしょうか。

回答

節目節目で受けておいた方がいいのではないかと思います。例えば学校の特別支援学級とか、通級指導教室に通うかどうか、または知的障害学級なのか、またはLD等の通級指導教室なのか、言語障害特別支援学級なのか。そういうところと関わる場合には、WISCの知能検査の結果が、判断の材料になることがあるからです。私が所属をしている施設では1年半か2年おきのペースで再評価をしています。

質問6：読み書き障害は直ったのか

質問内容：

小学校3年生の方です。小1の時、逐字読みで、一文字ずつ拾って読み、内容を理解していない状態でした。病院でLD傾向だと言われ、ビジョントレーニングを勧められて、2年間トレーニングをしました。

小3現在、行を飛ばして読むことはなくなりました。文末を変えて読むことはありますが、前と比べるとすらすら読めるようになりました。漢字も前日と、登校前の朝に練習すれば、10点満点のうち、6点から7点は取れます。読み書き障がいは直ったと思ってよいのでしょうか。

答

検査してみないとわからないと思います。

また、小学校1年生で逐字読みをするのは通常なんですね。これも私どもの研究で英語の論文(Sambai et al.2012)になっているのですが、平均しますと2年生からまとまり読みをするという結果でした。

今日はちょっと時間がないので実験できませんけれども、私たちはまとまり読みをするんです。私たちは2年生以上だから。だけど一般的に、1年生は逐字読みをするんです。

どういう実験をするかという、よく見かける単語とそれから無意味綴りを読んでもらいます。読み開始時間を測定します。ざっくり言うと、無意味綴りは、僕たちだって一文字ずつ読まざるを得ないわけです。一方、よく見る単語だったら、パッと見て読めてしまいます。

実験結果から1年生と2年生の間で読み方が大きく変わるということが分かっています。ですから、1年生の時に逐字読みをしていることから、発達性ディスレクシアであると言われたのは根拠がないと思われれます。さらに、ビジョントレーニングを勧める点も怪しいと思っています。ビジョントレーニングで発達性ディスレクシアの読みスキルが上がったというエビデンスはないのではないかと思います。

質問7：合理的配慮における平仮名表記について

質問内容：

では合理的配慮に入ります。学校のテストの時の回答ですが、漢字をひらがなで書いた場合、そのひらがなが間違っていたら正解にならないでしょうか。

回答

例えば社会や理科、また国語の漢字テスト以外で、漢字で書かないと平仮名、カタカナで正しく書いていたら、当然まる(○)をもらい、ひらがなやカタカナで書いてあるから、という理由で減点にされるような学校があったら、それは法律違反だと思ってください。

文科省も減点するのは差別している行動であると書類上、述べています。

平仮名、カタカナが完璧であるという前提で、答えを判断して正誤を決めるのだと思います。
ですから、ひらがな、カタカナで書いて、その字が間違っていたら減点になると思います。
もし、実はひらがなが習得できていない場合でしたら、ひらがなで回答させないで、音声つまり、口頭で答える、という形がおすすめだと思います。

質問 8：合理的配慮を本人が嫌がる場合

質問内容：

中 1 男子です。合理的配慮をご本人が嫌がる場合、どうしたらいいのでしょうか。

回答

本人の意思が一番大事です。嫌がる場合には無理強いできないと思います。ただ私の経験では、試験時に、答えを漢字で書かなくても、ひらがなやカタカナで答えを正しく書いている場合には減点しないという合理的な配慮は、採点法を変えるだけです。友達には分からないからなのか、拒否した方はまだ 1 人もいないですね。

その他の合理的な配慮に関しては、特に中学生では、周りとは違う方法で対応されたくないと言って拒否する子がいて、それはしょうがないかなと思います。ただ周囲の大人はよくアンテナを張って、本当に耐えられるのか？と、状態をしっかりと敏感に見ていただきたいと思います。

やはり我慢の限界が来ることはあるはずなんですね。我慢できる余力がある場合もあります。我慢ができなくなるぐらいの、ちょっと前ぐらいのタイミングで、周りの方が声かけをして、やっぱり無理なら合理的配慮してもらおうかっていうような声かけを、ぜひ、していただきたいと思います。

一回あなたが言ったんだから、そうしているんだよ、というような、突き放しはちょっとやめていただいて、寄り添っていただくと、ありがたいと思います。

質問 9：板書を写真撮影することについて

質問内容：

中学生です。板書をタブレットで撮影させてもらうこと、漢字をひらがな表記で書いても正解とする、を依頼したところ、学校から「まだ伸びる力を止めてしまうことになってもいいのか」と言われて迷ってしまいました。どう考えればいいのでしょうか。

回答

教員の方は、こどもを頑張らせすぎるところがありますよね。無理なことを頑張れと言われても、辛いのではないのでしょうか？ 本人は必要だって言っているのですしたらそれは実施した方が良いでしょう。タブレットで写真を撮ってどうするんだって思っちゃいませど、どうしても板書をされた文字列を写さない、と言うのでしたら、写真撮っていいんじゃないかと思います。板書をされた文字列を写さないから、学力が下がるとはとても思えません。

私はよくこの話はするのですが、板書された文字列をノートに写す授業はなぜ必要なのかと、いろいろな県や市や町の教育長や指導主事に質問するのですが、一度も納得できる答えをもらえたことがありません。

書いたら覚えますよねっておっしゃるのですが、一回書いて覚えますかって反論すると、黙ってしまいます。また、家に帰って復習できますよって、おっしゃる場合もあります。しかし、皆さん、ノートで復習していますか？と反論すると、黙ってしまいます。納得できる答えをいただいたことはないのです。

伝統的に、悪い意味の伝統的に、そういう、板書をされた文字列を写すことが行われているときに、あまり写さなくてよい合理的配慮をお願いしてほしいです。

それで写真撮っていいんだったら写真撮ることにどういう意味があるかは別として、撮らせてもらってもいいし、ある地域ではノートに写して書かなくてもいいよという授業もあるみたいですね。それから、書けるところまでいいから、とか一行だけにしなさいという場合もあるようです。

申し上げたいことは、板書をされた文字列を写すのをしないぐらいで、伸びる力が止まるのかというのは大変疑問なんです。

その授業の内容を理解してほしいのであれば、音声化してもらおうとか、その大事なポイントだけ、みんなで一緒に音読してもらおうとか、なんか別の方法があると思います。

授業内容を理解することは大事です。しかし、黒板の文字を写すことが、つまり文字という図形を写すことだけで一生懸命だと、授業を聞いて理解する余裕がなくなりますので、私としては、板書された文字列を移させる授業はやめた方がいいと思います。

質問 10：ルビ振りの効果について

質問内容：

中学生の方です。漢字にルビを振ってもらおうと、どうしてもルビに頼ってしまい、漢字の読みの練習にならなくなるのではないかと。また書く場合も、漢字をひらがな表記でもよいということだと、漢字の練習をしなくなってしまうと思うが、どう考えればいいのでしょうか。

回答

こういう心配はよくわかります。私は一番心配するのは音声化です。音声化した場合には漢字はあまり見ないです。耳で理解できてしまうから、楽だからです。

ところがですね、漢字にルビがふってあると、一応視野には漢字が入っているので、見ているのです。皆さん納得なされると思うのですが、見たことない漢字を私たちは読めないですよ。例えばこういう経験あります。ずっと音声化されていて、あまり漢字を見たことない中学生がいました。漢字音読力に必要な認知能力は良好なのに、漢字音読力が低かったのです。ルビが振ってあれば漢字をやっばり見ているので、ルビ振りは音読力の成長にも大事だと思います。

ご質問なさった方のご心配は、力が伸びないんじゃないかということですよ。でも、理解するためにはルビを振らざるを得ないのではないのでしょうか。ルビをふると、内容がよく理解できて、教科の理解が深まって、そして、教科学習の遅れがないようにするというのが目的です。目的が何かによって変わりますよね。

漢字が読めることも大事ですが、教科の内容を理解し、身につけることが大事だと考えた場合には、合理的な配慮が大変重要なんじゃないかと思います。

漢字を書くことについては、将来的には漢字が読めて意味が取れて、漢字変換ができることの方が大事なので、書くことにあまりこだわらない方がいいのではないかと思います。これは私の意見でございます。

質問 11：ICT なしでの読み書きを目指すべきか

質問内容：

小学校 1 年生の発達性ディスレクシアの診断がある子です。現在小学校ではいわゆるデイジー教科書やタブレットによるメモなど、ICT を使いながらサポートしていただいている状況ですが、小学校の通級の先生から、今後、ゆくゆくは授業での読み書きの負荷を増やしていく。自分で書いて努力するということですが。将来的にできる限り、ICT なしでも読み書きできるという方向を、目指した方がいいのではないかと聞かれました。どのように考えたらいいでしょうか。

回答

これこそそのお子さんの読み書きに関する検査データがないと答えられないです。本当にその学校の先生もおっしゃっているように、ちょっと頑張れば、もう少しできるようになるところまでできているのか。または、その先生が、主観的にただ言っているだけで、自分の哲学を言っているだけなのか。伸ばすためにもうちょっと努力しなさいって話ですけど、学校の先生が大好きな、頑張らせ教育ですよ。頑張らせすぎる教育だと僕は思うのですが。

だからその子にとって、普通に、より力をあげることが無理じゃなかったらいいですけど、無理なことさせているのだったら、パワハラになりますよね。これは、ごめんなさい。データがないとなんとも言えないですね。

質問内容：

今後支援が十分にできない可能性がこれからあるので、来年以降特別支援学級、情緒学級への転籍も選択肢に入れてもらいたいと言われました。発達性ディスレクシアの場合、通常学級と特別支援学級、どちらの学びがいいのでしょうか。

回答

それには答えられません。でも、典型的な発達性ディスレクシアのみの症状を示すのであれば、通常学校の中で、合理的な配慮や授業の内容を担当の先生が丁寧に工夫されることで十分対応できるはずだと思います。

発達性ディスレクシア+自閉スペクトラムが症あり、どうしても人間関係の点で、どうしても上手くいかなかったり、特別支援学級に入ってる方も、もちろんいます。発達性ディスレクシアだけで、知的障害特別支援学級に入っている子どもも実際にはいました。それは、親の判断ですね、もう無理させたくない、辛い思いさせたくないんだという、ご家庭のご判断でした。ひとは高校からは通常の高校へ行ってですね、むちゃくちゃ勉強して IT 関連の大学に進学しました。もう一人は、今高校生です。バイトと音楽活動で高校生活をととても楽しんでいます。

特別支援学級は、教科学習が保証されないという弱点があるのではないかと思います。知能が十分高く

て読み書きだけの問題だったら、通常学級で合理的な配慮をしっかりともらえば、結構教科学習についていけるはずだと思います。早めからしっかり、合理的配慮を受けていれば、教科学習は遅れないはずだと思います。例えば、高校入試で合理的な配慮を受けて合格して、高校に入ってから合理的配慮を受けていて、みんながみんなそうではないと思うんですが、学年でいつも 10 番以内だったというお子さんも中にはいました。

質問 12：本人が困り感を自覚していない場合

質問内容：

小学生のお子さんです。学校で ICT の活用や音声教材などの合理的配慮をお願いしていますが、ICT を使うと理解が深まる一方で、隣に支援者がいないと他のアプリに気を取られてしまいます。本人が困り感を自覚しておらず、支援を自分のものとして使う段階に至っていません。このような場合、保護者として学校にどのような働きかけ、どんな形で配慮を進めていくのが現実的でしょうか。

それから、ICT を自分から活用できるようになるのはどれぐらいの発達段階から可能になるのでしょうか。

回答

まず大前提として、ICT は必要だと本人が思っていますかしら？ 本人が必要だと思っているんだったら使うようになりますよね。まず本人の意志が重要だと思います。

本人の意志が明確でない場合に、保護者さんと教員が合理的な配慮を決めてしまうとどうなるかといいますと、本人の困り感がなくなります。ずっと困り感ないので、自分が何で困ってる人なのか、何に苦手さ困難さがあるかが分からなくなります。

周囲の皆さんにどういう配慮をしてほしいのか、どういうサポートをしてほしいのか分からないので言えない。そんな状態、つまりそれは自立に向かってない、逆の方向なわけです。

自立は、どなたでも自分の弱いところがわかって、人に助けてほしいところは助けてもらって、生きていくわけですが、自分の弱さが分からない。困っていないという状態はよくないと思います。

本当は、本人が合理的な配慮を求めているのではないかと、今のご質問からはちょっと懸念してしまいます。

ご本人がこういうふうにしてほしいという内容が分かれば、しっかりアプローチできると思います。そして、自分で使いこなせる内容の ICT を使わせるべきだと思います。ごめんなさい。症状の詳細がよくわかっていませんので、以上です。

質問 13：就労について

質問内容：

就労についてのご質問です。ディスグラフィアの男の子です。学生時代は何かしらの配慮を受けながら学んでいけると思いますが、このようなハンディーを持った子は将来どのような職につくことができるのでしょうか。自立して生活していけるのでしょうか。

回答

ディスグラフィアというのは書字障害のことですね。もし、漢字の書字障害であれば、タイピングで困らなくなります。私が知っている漢字の書字障害を呈するお子さんたちは、いろいろな職種についてます。

書字障害だけだったら、合理的配慮（タイピングなど）で勉強も追いついていきますし、超有名大学に合格している子もいるし、管理栄養士になっている子もいます、職業の選択幅がそれほどは狭まりません。

しかし、ひらがなもカタカナも書けない場合ですと、また別の問題があります。

手書きを強要されるような専門学校とか会社とかある場合には、そこは避けた方がいいですね。

質問 14：成績が低い子の進路について

質問内容：

では、就労について。読み書きの両方に困難さがあります。以前にかかった医療機関では、知的には問題なく、LD のグレーだと言われていました。そのままになっています。中学 3 年生になりましたが、テストの点数は悪く、内申も低いので、高校の受験ができるような成績ではありません。

将来のやりたいことが本人は決まっています。本人は自分のことバカだから何もやれないと言っています。おとなしいし真面目なので、先生はオール 1 でも入れる高校があるので、高校に入ってゆっくり将来のことを考えればいいと言ってもらいます。

この子にはどのような進路があるのでしょうか。将来自立して生活できる仕事はあるのでしょうか。

回答

はい、自立してやっていく仕事はちゃんとありますので、それをご心配なくお願いいたします。問題は、新しいことに挑戦するエネルギーを、無くさせないようにしていただくということが非常に重要なと思います。

一般的に言いまして、中学校は、発達性ディスレクシアがある子どもたちにとって、一番苦しい 3 年間かと思います。逃げられないですからね。

それで、義務教育で、高校に行きますと学力のマッチした学校にしか行けませんので、そうすると相当、楽になります。で、もちろん、荒れていない高校を選んでいただきたいですが、もちろんお子さんと一緒に学校見学に行って選んでいただきたいと思います。

選ぶっていうのは、地方だと難しいところもあるかもしれませんね。関東だと結構あるんですが。

高校に行きますと、だいぶみんな元気になるんですね。最初の一年間は少し自由にさせて、一年生の夏ぐらいからバイトする。少し社会勉強するという意味でバイトするのもいますし、高 2 くらいになったら、もう卒業後の進路について考えられる時期だと思っています。

先日 10 月 5 日に発達性ディスレクシア研究会、発達性ディスレクシアデイというのを主催しまして、その中のご質問でいただいたご質問とコメントの中に、宇野は、僕は個人的にはですね、高校までは合理的な配慮を受ける側だった発達性ディスレクシアの方たちは、将来的に、成人したら、合理的配慮を受けなくて済むような職種を選ぶのがいいのではないかな。そっちの方の方向に進むことを勧めているんだという話をしたりしましたところ、やりたいことがあるのに宇野はそんなこと言うって、怒られました。私は、やりたいことをしたいという方向性に関しては否定してはいないのです。ただし、やりたいことをするには、他の人に手伝ってもらわなければならないかもしれない可能性について、専門家として伝える

必要があるのだと認識しているのです。

発達性ディスレクシアがあって大人になって一般社会で、苦手な方向に進みたいというんで進んで、そして合理的な配慮をいつも求めていく生活っていうのもありだと思います。

私は個人的にはそっちの方じゃなくて、合理的な配慮がいない世界で活躍して、読み書きに困難な経験をしている子どもたちは、人の役に立つということを大事にしていると思いますし、人の役に立って喜んでもらえるような人材に多分なるんで、そういうように逆にお手伝いをしてあげるような職種の中で、活躍ができるんじゃないかって思っています。実際にそれをやっている人たちも少なくありませんので。

読み書きが困難なので、中学生でちょっと元気がなくなってるかもしれませんが、高校生になると変わるので、なるべく中学生生活を続けていただいて、学力が低い場合は、学び直しができる高等学校をお勧めしたいですね。

私は、毎年 5 人ぐらい高校受験している生徒の面接指導しているんですけど、その時にね、本音で話し合う。本音でどうしたいの？みたいなのと、よく話すんです。

そうするとですね、ちょっと私予想外だったんですけど、本当はもっと勉強したかったって、みんな本音で言うんですよ。ちょっと驚ろいちゃいましたね。もういやだって言うのかなと思ったが、本当はもっと勉強したかったと。

だから、高校に行ったら学び直しするって、それ面接で言いなって言って。まあ、それだけじゃなくてね、人と交流もってという希望もあるわけですけど。

今の時代、早期の段階から合理的な配慮があれば、学習がそんなに遅れがないはずなんで。そういう時代が来ないかな。中学 3 年生で、高校に入学してから学び直しをしたいって、言わなくともいい時代が来るといいなと、思っています。以上です。

質問 15：つくば市のモデル事業について

質問内容：

長久手市につくばモデルが入ったことは新聞報道で知ったが、その後どうなったのか。新聞報道やネットを探してもどこにも公表されていない。どうなっているのかぜひ知りたいです。

また、効果があるなら私の市町でも入れてもらいたいけどどうしたら入るのか教えてください。

回答

つくばモデルというのは 2 本柱がありまして、1 つ目の柱は、年長児の就学時健康診断および、小 1 夏休み前と、夏休み後および 2 月に行なう集団式のひらがな・単語書字テストにより読み書きの困難な子を拾い出すというシステム。2 つ目の柱は、困り感が出た子どもたちに対応できる専門的教員の養成、そういう 2 本柱になっています。専門的な教員養成は結構長い時間かけて行います。例えばつくば市ですと、2024 年度は割と成績が良くて、50% 近くの先生方が合格できましたが、他のある地域では 1 人も合格できないという温度差もございました。長久手市は去年初年度大変優秀でして 7-8 割が合格しています。

就学時健診、そして、小 1 の夏休み前のテストを実施し、夏休みの間家庭で練習します。そして夏休み明けにもう一回テストします。そしてまた専門的な教員が対応します。そして 2 月になりました。

長久手市では、確実に読み書きが困難の児童が減ってっていました。グラフにできるくらい確実でした。最後に読み書きが困難なお子さんが数人残ってるのですが、そのうち、ある子どもたちは知的障害だということが分かったので、知的障害学級で対応しますね、とか。この人たちは、これから専門的な教員が対応する予定の子どもたちですとか、ちょっと今、詳細は忘れましたが、読み書きが困難な子供たち全てを、把握できているのです。一人も見逃しがないんですよ。

通常の都道府県、通常の市町村はですね、そんなに見てない。長久手市では、しらみつぶしに一人も見逃しなく、対応してるということが分かりました。読み書きに関してはきっちりした対応してると思います。

それでは、どういうふうに他の市町村に広げるかということですね、いくつかのやり方が今までありました。最初の頃は私の講演を聞いた教育行政の幹部が、宇野の話が心に響いたようで教育行政を変えた市が3つありました。最近はそういう事は少なくて、皆さんのような保護者の方か、団体、個人の方から議員さんに働きかける。議員さんから、仮に市だとしたら、市議会で質問をしてもらったり、いろいろ活動していただいて、それで、教育長、市長が判断して新たに導入をする。最近はその傾向は多くなりました。あとは、珍しいのですが、現場の教員の圧力で、信頼に篤い指導主事が教育長、市長をまで巻き込んでくれていったということもありました。

大きな行政組織の問題点は、決定するまで時間がかかる。いろんな部署の了解はとらなくちゃいけない。そういう意味でこじんまりとした市町村の方が動きやすいという、判断が早くて決断力があるということ、言えるかなと思いますね。

私の作戦はそういう少し小さめの市や町でたくさん成功させて業績を上げて、だんだんと、もうみんなやってるし、大きなところでもやらなくちゃいけないねって、国とか学会がお尻に火がつく時期を待つ、いうふうに個人的に考えています。

会場からの質疑応答

まだ10分ありますので、会場の方からご質問を受けてまいりたいと思います。

質問1：小3男子と年長女子の診断について

小学校3年生の男の子と年長の女の子が、病院ではないので診断とは言わないかもしれないですけど、発達性ディスレクシアがあると、テストを受けて判断されています。小3の子が通っている学校では専門的なことができる教育はないし、通級指導にもすぐに通える枠がなくて通えない状態で、今何をしたらいいのかなっていうのがすごく分からずにいる状態です。どうやって学校と合理的配慮などを求めたりとかをしたらいいのかなと、とても悩んでいます。

年長の女の子に関しては、塾に通っていて、先ほどのお話聞いた、小学校1年生の夏休みまで、能力的なものが整わない中で、色々やらせていることは、もう即座やめた方がいいかなというふうに思い始めています。こちらについても伺いしたいと思っております。

回答

小学3年生のお子さんに関しては客観的な評価、STRAW-R(標準読み書きスクリーニング検査)を受けるべきです。そのテストを受けてどんな状態かを把握し、その結果を根拠に合理的配慮を受ける流れが

いいのではないかと思います。しっかり客観的に調べないと、何に本当に困って、何が可能性あるかがわかりにくいと思うのです。客観的に調べた方がいいと思います。

そこから始まりますね。

STRAW-R と呼ばれる検査があります。吉田先生のところでよく実施していると思いますけど、名古屋市立大学病院でも実施しているはずですし、検査をまず受けて、状態を調べていくのが非常に重要だと思います。そこから始まります。

年長のお子さんが通っている塾に関しては、塾がお子さんに無理させていなければ、お子さんもそんな困った感じがしていないのであれば、いいんじゃないかと思います。しかし、無理やりやって、失敗の経験をたくさんさせるというんだったら、もう即止めさせた方がいいと思います。

問者：

はい、わかりました。ありがとうございます。

質問2：小4男子の漢字学習について

質問者：

小学校4年生なんですが、診断は受けていて、1年生から3年生までの漢字は書けた方がいいかなと思っているんですが。実際は、小テストの時は書けるけど、その後もほとんど忘れてしまうという様子で。聴覚法でやってみようと思うんですが、本人はその方法になじめないし、面倒で嫌がります。本人が書けるようになりたいと思うような時、それが社会人なのが中高生なのかわからないんですけど、本人がやる気になった時にやればいいのか、それとも今ぐらいの時期の方が脳の仕組みとして、覚えやすいとかあったら、やっぱり嫌がっても少しずつでも、覚えるように聴覚法でやった方がいいのか迷っています。何かもしアドバイスあればお願いします。

回答

聴覚法を素人が実施するのをお勧めしないですね。4つの条件があります。1つ目は本人の意思です。これは本人の意思がはっきりしませんから条件あってないですね。それから二つ目にはですね、知能は正常であること。これはたぶん大丈夫なんでしょうね。三つ目は、Rey の AVLT というちょっと難しいテストがありますが、音声言語の長期記憶力が十分高いという条件が必要なんです。四つ目には多分大丈夫なんですけど、週に5日間ちゃんと練習できるという条件。それが整っているかどうかと、まず調べなくてははいけませんよね。

ただ条件を考えずに真似すると非常に危険です。多分10%ぐらいの子供が聴覚法が向かないと思います。書いて覚えるという方法も多分10%の子供たちが向かないと思います。

また、本人がどうしたいのか、という意味は非常に大事だと思います。やっぱり、小学校4年生ぐらいだとまだまだ保護者の意見の影響力が強いと思うんですが、本人が本当に漢字がテスト勉強の時は覚えられても、すぐ忘れちゃうことに対して自分でなんとかしたいと思うのかどうかですね。

ざっくりいうと、たぶん漢字を真似して書くことができてはいるんだけど、それを記憶するのが弱いかも知れないですね。

そうすると、そういう記憶力ってなかなか上がらないんですよね。カバーしていかないと難しいと一般

的には考えます。だから、今のような練習をガンガン続けていても、それほど効果はないはずです。本人がどのように自分に起こっている事態を把握するかによりますね。

今回ご相談のケースとは違うとは思いますが、一般的に自閉スペクトラム症が合わさっているお子さんだと、2、3年は通常のお子さんの発達に比べて、そういう困り感とか内省とか自立へ向けての発達が遅れる傾向になるようです。ADHD や ASD と大きく異なるのは、読み書きの問題は、本人が自分で練習しないとできるようにならないわけです。野球とかサッカーとかスポーツやってる子にはすごくわかってもらいやすいです。自分で素振りしないと打てるようにならないよねとか、シュートの練習をしないと入らないよねと理解しやすいです。だから自分で練習しないとできるようにならないよねっていう話はすごくよくわかってもらいやすいです。とにかく、自分で練習しないとできるようにならないんです。保護者にやらされては、うまくできるようにならないんです。

どうしても自分の状態が把握できずに、練習したくない場合には、無理やり練習させないで、あとで自分の状態が把握できて、これじゃいけないなと本人が感じた時が、練習を開始するタイミングのように思います。

質問者：

ありがとうございました。